消しゴムはんこを作ろう

書体のうつりかわり

普段私たちが使っている漢字は、現在の形になるまで、
さまざまな書体の移り変わりがありました。
書体のうつりかわりを学びましょう。

甲骨文（こうこつぶん） ＝最古の漢字
今から約3300年前。亀の甲羅や牛の骨に文字が刻まれていた。

金文（きんぶん）
今から約3300年前。金属の器に鋳込まれた文字。

篆書（てんしょ） 一般的なはんこの書体。(お札・パスポートなど)
今から約2200年前。金文をさらに書きやすい書体にしたもの。
線はすべて同じ太さ。

隷書（れいしょ） 基本的に筆で書く書体。
今から約2200年前。篆書を書きやすくしたもの。

草書（そうしょ） 基本的に筆で書く書体。
今から約2000年前。篆書・隷書を簡単にし、くずしたもの。

行書（ぎょうしょ） 基本的に筆で書く書体。
今から約1800年前。隷書の早書きとして使われるようになった。

楷書（かいしょ） 普段よく目にする書体。
今から約1800年前。現在の正式な書体。隷書や行書から変化した。

同じ漢字でも書体がちがうと、見た目もちがいます。
漢字のふるさと中国では、書く道具や書く素材、書く目的のちがいによって、
文字の形は、さまざまに変化しました。
次のシートでは、消しゴムはんこの作り方を説明します。

漢検 漢字博物館・図書館
Japan Kanji Museum & Library
おうちでたのしくまなべる おうちミュージアム

消しゴムはんこを作ろう

普段私たちが使っている漢字は、現在の形になるまで、
さまざまな書体の移り変わりがありました。
前のシートで「書体のうつりかわり」を学んだら、
消しゴムはんこを作りましょう。

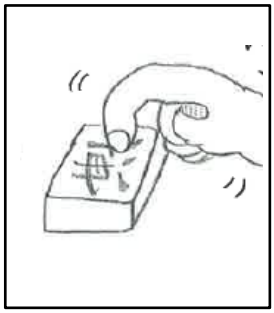
○準備するもの

・えんぴつ
・消しゴム(消しゴムはんこ用がおすすめ、4cm×3.5cmくらい)
・トレーシングペーパー（消しゴムと同じサイズ）
・竹ぐし（つまようじでもOK）
・スタンプ台（朱肉でもOK）

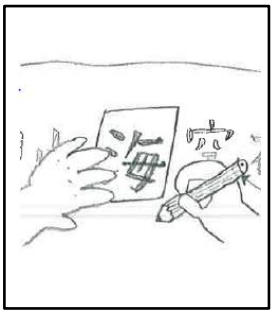
○はんこの作り方

①漢字を一字えらんで
左の四角に書きます。

インターネットや
辞書で調べてみよう！

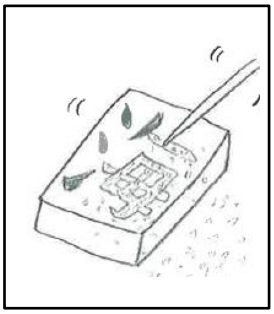


②書いた漢字の上に
トレーシングペーパー
をあてて、漢字を
えんぴつでなぞって
写し取ります。



③トレーシングペーパー
をうらがえして、
消しゴムにあてます。

④つめでこすって漢字を
消しゴムに写し取ります。



⑤竹ぐしやつまようじで
線に沿って消しゴムを
ほっていきます。

③けずりカスを
とりのぞいてから、
はんこにインクを
たっぷりつけて
左の四角に押して
みましょう。